



知って得する！ロイロノートの小技をご紹介します♪

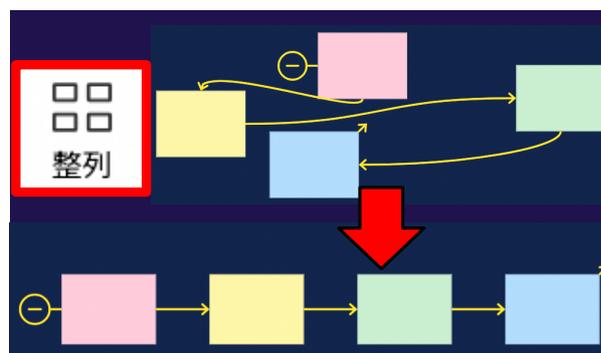
◇自分のノートに「送る」

カードを送る際、**送り先に「自分のノート」**を選ぶことで、他のクラスや他の授業のノートへカードを送ることができます。異なる科目で資料を作ってしまった場合や別のクラスで同じ資料を使いたい場合などに役立ちます。※送り先で新しいノートを作ることも可能



◇カードを並べる「整列」機能

バラバラな位置で繋がったカードは、**カードを長押し**して表示されるメニューから「**整列**」を選択することで一列に並べることができます。児童生徒に複数のカードを提出させる際に整列させておく等、視認性向上のために利用できる機能です。



◇クラスメイトの提出物を全員に表示する

通常、児童生徒が提出箱を開いても、自分と先生の提出物が表示されるのみですが、「**回答を共有**」機能を使用することでクラスメイトの提出物が表示され、お互いの提出物の閲覧が可能になります。

<機能を使用する方法>

- ① 提出箱を開き「**回答を共有**」ボタンを押す
- ② 上部に表示される確認にて「**OK**」を押す

※共有の停止は再度「回答を共有中」ボタンを押します



◇提出者の名前を隠す

提出箱では提出者の名前が表示されますが、「**提出順**」プルダウンより「**無記名**」を選ぶことで名前を隠すことができます。無記名の状態で「**回答を共有**」を行うことで無記名のまま、意見等を共有することが可能です。



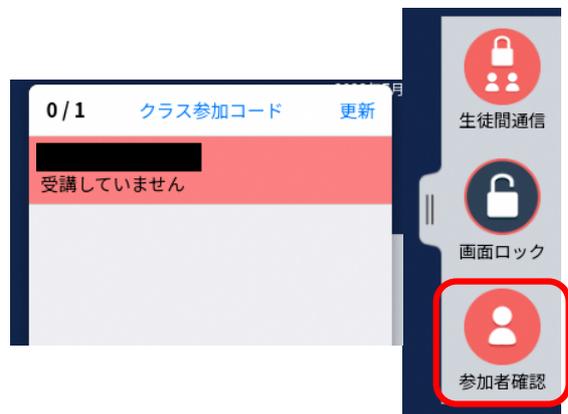
◇参加者確認

生徒間通信や画面ロックの切り替えが行えるタブには「参加者確認」というボタンがあります。このボタンではクラスの誰がロイロノートを開いているかや、参加状態を色別で確認することができます。

白・・・ロイロノートを開いて授業に参加中

黄・・・ロイロノートを開いて授業を選択中

赤・・・ロイロノートを開いていないか別の授業に参加中



◇自主学习

自主学习で作成できるノートは、他の先生や児童生徒への影響が無いとため、教材作成やロイロノートの機能の確認等に役立ちます。自主学习は、授業一覧（クラスや授業が並ぶ画面）の「授業の追加」ボタンの下にある「自主学习」ボタンをクリックすることで開くことができます。作成できるノートは通常のノートと同じですが、提出箱は無く、資料箱と送るのみとなっています。



<厚陽小学校の活用風景>

多くの小学校で1年生のChromebook利用が進められています。厚陽小学校でもGoogle Meetでオンライン授業の練習が行われました。教室を飛び出し、廊下や図書室に移動して、先生やクラスメイトと通話を行います。（画像左）

先生からの問いかけに元気よく返事をして、音声・映像ともに問題がないことを確認した後、先生が一人ひとりの名前を呼びます。名前を呼ばれた児童はマイクをオンに切り替えて返事をし、返事が終わるとマイクをオフにします。大変楽しそうに授業が進行し、友達と画面を比べたり、画面越しにじゃんけんを行ったりする様子が見られました。

6年生はGoogleスライドで修学旅行に関連した資料を作成しています。（画像右）戦争や原爆とそれらに関わりのある人物について各々が調べ、5年生へ発表します。文字の色や大きさ、スライドのアニメーションなどを調整し、わかりやすい資料となるよう何度も先生のチェックを受け、試行錯誤が繰り返されていました。



図書室から教室へGoogle Meet で接続



位置シールが貼ってある1年生の端末



スライドの作成を行っている様子